

オープンハウス実施時のご意見について

実施日時：R6/9/23（月・祝） 10:00～16:00 天候：晴 来場者：74名
 R6/9/24（火） 10:00～16:00 天候：晴 来場者：72名

会 場：武蔵野公園 噴水前

内 容：○放送設備、照明設備整備、
 生物多様性保全に関する整備
 についてのパネル展示、及び
 職員によるパネル説明
○上記整備に関するアンケート
 （回答数 n=117）



実施状況

多くの方のご来場ありがとうございました。

オープンハウスの説明時や実施したアンケートにおいて、様々なご意見を頂きました。その中で、放送設備や照明設備の整備については、整備推進を求める意見もある一方、整備に対する疑問や反対の声も寄せられたことから、これらの意見等に対する東京都の考え方を改めてご説明します。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・豊かな自然を大事にしてほしい 人工物はなるべく作らないでほしい 自然環境への負担を最小限に	<ul style="list-style-type: none">・武蔵野公園の豊かな自然の保全や活用を図りながら、引き続き公園の整備や維持管理を進めて参ります。・多様な公園利用のニーズや、来園者の安全確保を踏まえ、自然環境に配慮しながら、必要な施設整備や改修を進めて参りますので、ご理解いただけますようお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none">・住民への説明会は必ず実施してほしい	<ul style="list-style-type: none">・整備の規模や、公園利用への影響が大きい工事については、公園利用者や近隣住民の方を対象に、内容の説明や意見交換を行う場を設けていきます。
<ul style="list-style-type: none">・防災放送の活用に関する基本的考え方が不明確である。根本的に考え直すべきだ。	<ul style="list-style-type: none">・放送設備は、災害時には、公園に避難された方の誘導や安全確保の他、地震情報や避難所情報等の災害情報等について情報提供を行うもので、公園管理者により運用されます。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 放送設備は手段ツールであり「どのような状況で誰が誰に何を伝えるのか」をまず熟考することが必要。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害時には、避難者の安全確保を図るため、園内での適切な誘導と被害状況（例：倒木の存在、橋の損傷、園路の陥没等）や、立入制限情報を伝える他、その他の災害情報（例：地震情報、市の避難所等の開設情報等、防災施設利用の案内、周辺救護活動状況など）について、公園管理者が放送設備を用いて情報提供を行います。・ 平常時には、熱中症や雷や大雨等の注意喚起、迷子の呼び出し、公園利用マナー向上、不審者情報、駐車場利用の案内、その他事件事故等の情報提供を行います。
<ul style="list-style-type: none">・ 市の放送設備を活用できるようにすれば良い。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害時、平常時にかかわらず、公園管理上必要な情報提供を行う手段として、公園の放送設備が必要になります。・ 公園管理に必要な情報を、市の防災無線を用いて放送することはできません。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 平時の放送は不要である。	<ul style="list-style-type: none">・ 平常時には、熱中症や雷や大雨等の注意喚起、迷子の呼び出し、公園利用マナー向上、不審者情報、駐車場利用の案内、その他事件事故等の情報提供を行います。・ 来園者の安全確保や公園の適正な利用を実現するため、ご理解いただけますようお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none">・ くじら山周辺への整備は、最低限除外すべきである。	<ul style="list-style-type: none">・ 当初の計画を見直し、「はらっぱ」の自然環境を守るため、はらっぱの中への放送設備の整備は行いません。・ そのような中、園内になるべく放送が届くよう配置を検討し、くじら山の南側のエリアに、放送設備を設置することとしています。・ くじら山に最も近い放送設備の支柱は、現地確認の上、基礎の掘削位置等を調整することは可能です。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 放送設備の設置数が多過ぎる。・ くじら山原っぱをはじめ、周辺の設置は止めて欲しい。・ 既存の街路灯と併設させることを検討して欲しい。	<ul style="list-style-type: none">・ 公園内になるべく広く放送ができるよう、設置数や位置を検討しています。・ 当初計画と比べ、はらっぱ内やその周辺への設置数を減らしています。・ 既存の公園灯への併設には、高さや強度が不足するため、既存の公園灯を撤去し、新たな支柱及び基礎を設置する必要があります。このため、放送設備用の支柱を別途設置することとしています。
<ul style="list-style-type: none">・ 在来種の動植物が多数生息しており、生物多様性の保全に大変影響あり、工事を中止して欲しい。・ 人工的な都会の公園にはして欲しくない。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害時を含め、公園管理上、必要な設備であり、園内の動植物等の保全にも配慮しつつ、工事を進めて参ります。・ 別途実施する生物多様性保全のための整備工事実施に合わせ、園内の希少生物等について、モニタリング調査を実施していきます。・ 様々な公園利用のニーズを踏まえ、必要な整備や維持管理を進めて参ります。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">放送設備については、現状でも伝達出来るのでは。自然環境を守って欲しい。	<ul style="list-style-type: none">面積の広い公園であり、公園利用者に対し、職員が人力で必要な情報を迅速に周知していくのは、人員の点からも困難です。迅速な情報伝達のための必要な設備として、自然環境に配慮しつつ、整備を進めて参ります。
<ul style="list-style-type: none">照明はいらない 生き物に対して問題がある	<ul style="list-style-type: none">公園は夜間も開放しており、来園者の安全確保のため、照明設備は必要不可欠です。災害時には、避難者の安全・円滑な避難を可能とするため、停電時でも点灯可能な、ソーラーパネルや蓄電池を備えた非常用照明が必要となります。別途実施する生物多様性保全のための整備工事の実施に合わせ、園内の希少生物等について、モニタリング調査を実施していきます。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 放送設備の運用が一番気がかり。静かで人工物の少ない武蔵野公園に、日常的に放送アナウンスが入ることになる設備には反対。「命にかかわる事」に限定して欲しい。・ 放送設備を作る前に運用について、適切（最低限）な数について、十分に市民の意見を聞いて検討することを求める。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害時には、避難者の安全確保を図るため、園内での適切な誘導と被害状況（例：倒木の存在、橋の損傷、園路の陥没等）や、立入制限情報を伝える他、その他の災害情報（例：地震情報、市の避難所等の開設情報等、防災施設利用の案内、周辺救護活動状況など）について、公園管理者が放送設備を用いて情報提供を行います。・ 平常時には、熱中症や雷や大雨等の注意喚起、迷子の呼び出し、公園利用マナー向上、不審者情報、駐車場利用の案内、その他事件事故等の情報提供を行います。・ 放送設備の運用については、様々な公園利用ニーズを踏まえ、過剰な放送とにならないよう配慮をまいります。・ 放送設備の数については、公園内になるべく広く放送ができるよう、設置数や位置を検討の上、設定しています。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 里山の自然が残る公園。これ以上の人工物、外来物が入る事はバランスが崩れていく原因となる。・ 放送設備、照明設備は最も必要ないものである。	<ul style="list-style-type: none">・ 公園には様々な利用ニーズがあり、自然環境の保全に配慮しながら、必要な施設整備は進めて参ります。・ 放送設備は、迅速な情報提供による来園者の安全確保や公園利用の適正化を目的とするもので、地震等の災害時や大雨等の異常気象時における情報提供や、公園の利用案内等の連絡事項を迅速に来園者に伝え、来園者の安全確保や適正な公園利用を図るため、公園管理における情報伝達的手段として放送設備が必要なものです。・ 照明設備は、夜間における来園者の安全確保に加え、災害時には、公園への避難者の安全・円滑な避難を可能とするため、停電時でも点灯する非常用照明が必要となります。

オープンハウス実施時のご意見について

ご意見	都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 地域住民に事前の説明もなく工事開始した所は全て、まず元に戻すべき。・ 生物多様性のパネルとセットにした説明会は姑息さを感じる。・ アンケートの設問が整備ありきのもの回答をせよ、工事を進める口実を強化するもので設問自体がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">・ 工事着手前の説明が行われなかったことに対してはお詫び申し上げます。今後はこのようなことがないように、整備の規模や、公園利用への影響が大きい工事については、公園利用者や近隣住民の方を対象に、内容の説明や意見交換を行う場を設けていきます。・ 今回の工事は、公園の管理運営において必要な工事であり、ご理解いただけますようお願いいたします。・ 生物多様性に関する整備工事については、今回の放送設備・照明設備の工事と同時期に実施するものであることに加え、施工エリアが一部近接する部分があるため、合わせて説明をしています。・ オープンハウス時にご協力頂いたアンケートについては、来場者の皆様のご意見を幅広く把握するために実施しています。